



ネットワーク モデル例

この章では、Cisco MetroPlanner を使用する場合のモデルになる、一般的な光ネットワークの例を紹介します。

この章の構成は、次のとおりです。

- 3.1 サポートされる Cisco MetroPlanner トポロジー (p.3-2)
- 3.2 バストポロジー (p.3-2)
- 3.3 ハブリングトポロジー (p.3-4)
- 3.4 メッシュトポロジー (p.3-5)

3.1 サポートされる Cisco MetroPlanner トポロジー

Cisco MetroPlanner は、次のネットワーク トポロジーをサポートします。

- バス（シングル スパン、ポイントツーポイント、およびリニア）
- オープン（またはハブ）リング
- クローズド（またはメッシュ）リング

この章では、各トポロジーの例を紹介します。

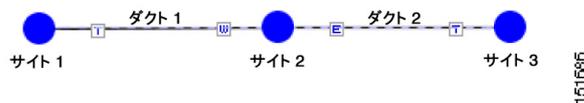
3.2 バス トポロジー

バス トポロジーには、シングル スパン、ポイントツーポイント、およびリニアの 3 種類のトポロジーが含まれます。

3.2.1 シングル スパン トポロジー

図 3-1 に、シングル スパン トポロジーの例を示します。シングル スパン トポロジーは、シングル スパン リンクに特徴があります。シングル スパン 構成がサポートするのは、中間に回線増幅器も Optical Add/Drop Multiplexing (OADM; 光分岐挿入) サイトのない、2つの終端サイト（完全終端または柔軟性のあるチャネルカウント終端）だけです。

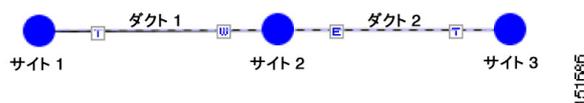
図 3-1 シングル スパン トポロジーの例



3.2.2 ポイントツーポイント トポロジー

図 3-2 に、ポイントツーポイント トポロジーの例を示します。ポイントツーポイント トポロジーでは、すべての波長がチェーンの同じ位置で終端します。ポイントツーポイント 構成では、中間サイトでチャネルの分岐または挿入は行われません。

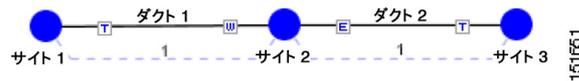
図 3-2 ポイントツーポイント トポロジーの例



3.2.3 リニア トポロジー

図 3-3 に、リニア トポロジーの例を示します。リニア構成は、2つの終端サイト（完全終端または柔軟性のあるチャネルカウント終端）の存在に特徴があります。2つの終端サイト間に、OADM ノードまたは回線増幅器ノードを追加できます。リニア構成では、特定の波長ごとにチェーンの異なる位置で終端します。プロビジョニングできるのは、非保護トラフィックだけです。

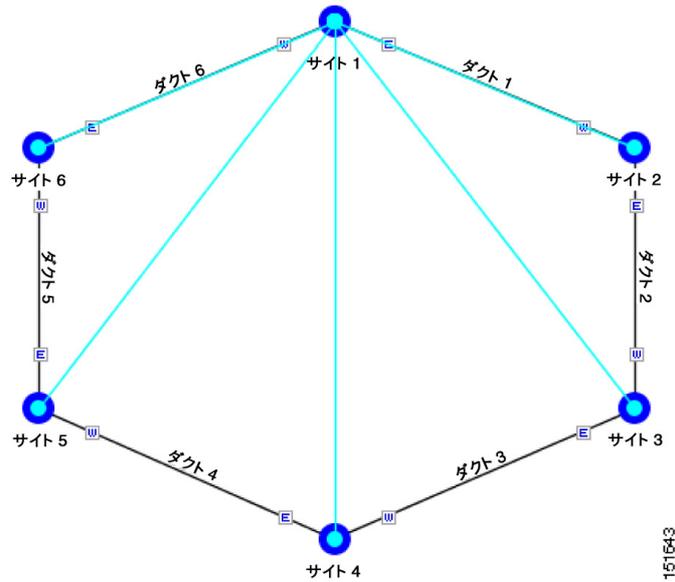
図 3-3 リニア トポロジーの例



3.3 ハブリングトポロジー

図 3-4 に、ハブリングトポロジーの例を示します。この構成では、1つ以上のサイトをハブサイトとして、そこですべてのチャンネルを終端させる必要があります。

図 3-4 ハブリングトポロジーの例



3.4 メッシュトポロジー

図 3-5 に、メッシュリングトポロジーの例を示します。メッシュリングは、ハブノードがないことが特徴です。

図 3-5 メッシュリングトポロジーの例

